

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
53111	市内企業脱炭素促進事業	環境部	環境・ゼロカーボンシティ推進課	2
53111	地球温暖化対策事業	環境部	環境・ゼロカーボンシティ推進課	3
53112	ゼロカーボンシティ松山推進事業	環境部	環境・ゼロカーボンシティ推進課	4
53113	SDGsスマートアイランドモデル事業	環境部	環境・ゼロカーボンシティ推進課	5
53113	ゼロカーボンシティ松山推進事業(普及啓発)	環境部	環境・ゼロカーボンシティ推進課	6
53121	まつやまRe・再来館管理事業	環境部	環境・ゼロカーボンシティ推進課 まつやまRe・再来館	7
53121	環境総合計画推進事業	環境部	環境・ゼロカーボンシティ推進課	8
53121	環境総合計画推進事業(災害廃棄物適正処理推進事業)	環境部	環境・ゼロカーボンシティ推進課	9
53131	災害廃棄物等処理事業	環境部	環境・ゼロカーボンシティ推進課	10
53133	松山ブロックごみ処理広域化検討事業	環境部	環境・ゼロカーボンシティ推進課	11
53134	全国都市清掃会議等関連事業	環境部	環境・ゼロカーボンシティ推進課	12
53211	環境教育啓発推進事業	環境部	環境・ゼロカーボンシティ推進課 まつやまRe・再来館	13
53212	環境美化推進事業	環境部	環境・ゼロカーボンシティ推進課 まつやまRe・再来館	14

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	環境部	課等名	環境・ゼロカーボンシティ推進課	担当G	ゼロカーボン推進担当	連絡先	948-6459
------	-----	-----	-----------------	-----	------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	市内企業脱炭素促進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営
53111						
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約
政策	豊かな自然と共生する		○	○	○	○
施策	脱炭素・循環型まちづくりの推進					
主な取組	脱炭素社会の構築	根拠法令	松山市企業脱炭素投資促進補助金交付要綱			
取組みの柱	脱炭素社会の実現に向けた温室効果ガスの削減					
目的・背景	本市の温室効果ガス排出において約8割を占める産業・業務・運輸部門への脱炭素化に向けた働きかけが重要となっており、地元金融機関との連携や関心が高まっているESG投融資を活用した事業を展開することで環境配慮型の脱炭素経営の広がりを目指す。					
対象・内容	【対象】 市民・事業者 【事業内容】 金融機関が企業向けに行うグリーンローンやサステナビリティ・リンク・ローンなどのサステナブルファイナンスの契約にあたって必要となる外部評価機関へ支払う手数料の一部を補助し、環境配慮型の脱炭素経営への参入を促す。 地元金融機関や商工会議所等と連携し、脱炭素経営に関するセミナーを開催するなど周知啓発に取り組む。					

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境政策費
事業費／財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費 (千円) 【R6 決算】	松山市企業脱炭素投資促進補助金		600
予算 (千円)	事業費計	4,150	3,494	1,969			脱炭素経営セミナー開催に伴う会場使用料		25
	国費・県費						チラシ同封サービス利用料		12
	市債								
	その他								
	一般財源	4,150	3,494	1,969					
決算 (千円)	事業費計	2,790	637			主な取組 内容 【R6】	・松山市企業脱炭素投資促進補助金 ・脱炭素経営セミナー		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	2,790	637						
	(執行率)	67%	18%						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記事項	民間の派遣制度を使い、脱炭素経営セミナーの講師謝礼や旅費の負担を削減。また、市内企業への周知啓発方法をオンライン化し、印刷製本費を削減することができた。		
	その他								
	合計	1.0	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和10年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	イベントや広告媒体による啓発件数		目標	3	3	3	3	地元金融機関や松山商工会議所との連携により、企業向けセミナーの開催につながった。	
			実績	3	2				
	現状維持	回	達成率	100%	67%				
成果指標	補助件数		目標	10	5	5	15	補助対象の金融商品を拡大したことで、補助件数の増加につながった。	
			実績	2	8				
	累計で増	件	達成率	20%	160%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	松山市HPIに脱炭素経営の必要性やメリット、ツールなどを紹介する内容を掲載。また、地元金融機関や商工会議所と連携し、市内企業向けの脱炭素経営セミナーを開催するなど、啓発内容の改善や啓発対象の拡大に取り組むことができた。							
課題	脱炭素経営に向けた企業の機運を高めていくために、企業ニーズの分析、啓発機会の拡大を検討する必要がある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	企業に向けた支援には、金融機関や経済団体等との連携が不可欠であり、本事業の中でより効果的な方法を模索していく。

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	環境部	課等名	環境・ゼロカーボンシティ推進課	担当G	ゼロカーボン推進担当	連絡先	948-6459
------	-----	-----	-----------------	-----	------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	地球温暖化対策事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	1:直営	
53111							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	豊かな自然と共生する		○	○	○	○	
施策	脱炭素・循環型まちづくりの推進						
主な取組	脱炭素社会の構築	根拠法令	温対法 / 省エネ法 / 第6次松山市総合計画 / 第2次松山市環境総合計画 / 第2期松山市環境モデル都市行動計画 / 第6期松山市役所温暖化対策実行計画				
取組みの柱	脱炭素社会の実現に向けた温室効果ガスの削減						
目的・背景	地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、松山市域及び松山市の事務事業から排出される温室効果ガスの排出削減等を推進する。						
対象・内容	【対象】 市民、各事業所、松山市事務事業 【事業内容】 「第2期松山市環境モデル都市行動計画(区域施策編)」や「第6期松山市役所温暖化対策実行計画(事務事業編)」等の計画に基づき、事業実施、評価・点検・改善を行うほか、関係法令に基づき、エネルギー使用量や温室効果ガス排出量の集計等を行い、国に報告する。 また、太陽光発電による環境価値をグリーン電力証書として販売するほか、関係機関等との連携を通じて先進的な取組について情報収集等を行う。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境政策費
事業費／財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な 経費 (千円) 【R6 決算】	小・中学校総発電電力量 計取替工事(4校)		1,628
予算 (千円)	事業費計	1,537	3,071	1,254			イクレイ年会費		420
	国費・県費						グリーン電力の認証・認 定に係る年間登録料		220
	市債								
	その他		1,200						
	一般財源	1,537	1,871	1,254					
決算 (千円)	事業費計	819	2,339			主な 取組 内容 【R6】	・小・中学校総発電電力量計取替工事 ・エネルギー管理標準の取りまとめ等 ・市役所内のエネルギー使用量等の集計及 び国への報告 ・グリーン電力証書の販売		
	国費・県費								
	市債								
	その他		1,200						
	一般財源	819	1,139						
	(執行率)	53%	76%						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記 事項			
	その他								
	合計	1.0	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和12年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	グリーン電力証書の啓発 件数		目標	3	3	3	3	松山市HP、温暖化対策委員向けの全体会、職員向けに配信しているデコ活通信のほか、企業向け脱炭素経営セミナーで周知・啓発を行った。	
			実績	3	4				
	現状維持	件	達成率	100%	133%				
成果指標	グリーン電力証書の販売 件数		目標	25	25	25	25	前年度にあった「グリーン電力証書の購入」を補助要件にした国の制度に変更があったため。	
			実績	104	20				
	現状維持	件	達成率	416%	80%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	グリーン電力証書の販売件数は目標を達成できなかったものの、1件あたりの電力購入量は対前年比で増加した。							
課題	2050年カーボンニュートラルの実現に向け、更なる再生可能エネルギー導入等の対応策や気候変動への適応策を推し進めることが必要である。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	各種計画に記載している施策を確実に推進していく。

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	環境部	課等名	環境・ゼロカーボンシティ推進課	担当G	ゼロカーボン推進担当	連絡先	948-6437
------	-----	-----	-----------------	-----	------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	ゼロカーボンシティ松山推進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
53112			各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	根拠法令	○	○	○	○	
政策	豊かな自然と共生する		第2次松山市環境総合計画、第2期松山市環境モデル都市行動計画、松山市ゼロカーボン推進補助金交付要綱、松山市クリーンエネルギー自動車導入促進補助金交付要綱				
施策	脱炭素・循環型まちづくりの推進						
主な取組	脱炭素社会の構築						
取組みの柱	再生可能エネルギー等の導入促進						
目的・背景	本市での温室効果ガス排出量の多くを占める民生部門(業務+家庭)や運輸部門における削減及び環境保全意識の高揚を図ることを目的に、太陽光発電システムや電気自動車等の導入者に対する補助を行う。本市の温暖少雨で日照時間が全国平均を上回る地域特性を背景に、平成12年度から開始した太陽光発電システムへの補助をはじめ、住宅用蓄電池や電気自動車等の設置・導入を促進している。						
対象・内容	【対象】 市内に補助対象設備等を設置・導入する個人、法人 【事業内容】 個人や法人が設置・導入した太陽光発電システム、ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)、家庭用燃料電池システム、住宅用蓄電池システム、V2H充放電システム、家庭用エコキュート、電気自動車・燃料電池自動車に対して補助金を交付する。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境政策費
事業費／財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度			主な経費 (千円) 【R6 決算】	ZEH補助金	65,000
予算 (千円)	事業費計	149,930	150,300	238,161				住宅用蓄電池システム設置補助金	41,300
	国費・県費	35,023	41,467	119,066					
	市債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	114,907	108,833	119,095			電気自動車・燃料電池自動車導入補助金	19,875	
決算 (千円)	事業費計	149,867	150,247				主な取組 内容 【R6】	市内に太陽光発電システムやZEH、住宅用蓄電池等の設置、導入や、電気自動車・燃料電池自動車を導入した個人・法人に対し補助金を交付。	
	国費・県費	30,806	28,449						
	市債	0	0						
	その他	0	397						
	一般財源	119,061	121,401						
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	2.0	2.0	2.0			特記事項	令和6年度から、電気自動車の導入者が太陽光発電システム設置済の場合、補助金の上乗せを開始。	
	その他	1.0	1.0	1.0					
	合計	3.0	3.0	3.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和12年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	補助制度の広報媒体数		目標	8	8	8	8	広報まつやまをはじめとする多様な媒体や、関係機関を通じた周知を行った。
			実績	13	12			
	現状維持	件	達成率	163%	150%			
成果指標	ZEH補助件数		目標	120	120	120	120	脱炭素への意識が高まる中、再エネや省エネ設備の導入は堅調に推移している。
			実績	260	260			
	現状維持	件	達成率	217%	217%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	本事業の実施により、民生部門や運輸部門の温室効果ガス排出量削減や環境保全意識の高揚につながられている。						
課題	ゼロカーボンシティ松山の実現に向けて、再エネ・省エネ設備等の導入促進を図り、温室効果ガス排出量削減と脱炭素の推進が求められている。				今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	2050年カーボンニュートラルを目指し、温室効果ガス排出量削減と脱炭素の推進に取り組む。

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	環境部	課等名	環境・ゼロカーボンシティ推進課	担当G	ゼロカーボン推進担当	連絡先	948-6436
------	-----	-----	-----------------	-----	------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	SDGsスマートアイランドモデル事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	7:その他	
53113							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	豊かな自然と共生する		○	○	○	○	
施策	脱炭素・循環型まちづくりの推進						
主な取組	脱炭素社会の構築	根拠法令	第2次松山市環境総合計画、第2期松山市環境モデル都市行動計画、松山市第2期SDGs未来都市計画				
取組みの柱	スマートシティの構築						
目的・背景	離島・中島が抱える人口減少や少子高齢化、エネルギーの脆弱性などの課題を解決し、持続可能なスマートアイランドを実現するため、豊かな自然環境との共生を目指し、再生可能エネルギーの地産地消を進める。 令和2年7月には、SDGs未来都市に選定されたことを受け、産学民官金で構成される「松山市SDGs推進協議会」に「スマートアイランド分科会」が発足した。令和6年度末の同協議会の解散に伴い、令和7年度からは新たな産学官連携組織の「まつやま未来コネクト」に引き継がれている。						
対象・内容	【対象】 市民・観光客 【事業内容】 グリーンスローモビリティ(時速20km未満で走る4人乗りの電気自動車)を貸し出し、島内の周遊性の向上につなげる。 また、ソーラーカーポートをグリスロやE-Bikeの充電に活用するほか、ソーラー充電スタンドを維持・管理し、夜間照明や施設利用者の携帯充電に活用する。さらに、自家消費した電力の一部をグリーン電力証書化する。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境政策日費
事業費／財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度			主な経費 (千円) 【R6 決算】	グリスロ修繕料	705
予算 (千円)	事業費計	6,823	1,864	1,896				グリスロ任意保険料	658
	国費・県費	3,322	842	693				グリスロ運営委託料	495
	市債								
	その他								
	一般財源	3,501	1,022	1,203					
決算 (千円)	事業費計	5,934	1,870				主な取組 内容 【R6】	・グリスロの島内活用 ・ソーラーカーポートで自家消費した電力 のグリーン電力証書化	
	国費・県費	2,800	842						
	市債								
	その他								
	一般財源	3,134	1,028						
	(執行率)	87%	100%						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0			特記 事項	グリスロの修繕に想定以上の費用を要した ため、決算額が予算額を上回った。	
	その他								
	合計	1.0	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	本事業の取組の 啓発回数		目標	5	5	5	5	各種イベントで本事業の取組を啓発することができた。	
			実績	6	5				
	現状維持	回	達成率	120%	100%				
成果指標	グリスロの走行距離		目標	1,500	1,750	2,000	2,000	グリスロの故障により稼働が少なかった。	
			実績	1,787	882				
	単年で増	km	達成率	119%	50%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	グリスロの稼働が少なかったものの、ソーラーカーポートで自家消費した電力をグリーン電力証書化するなど、エネルギーの地産地消を進めることができた。							
課題	令和8年度以降のグリスロの活用方法					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き、中島内のゼロエミッションの移動手段等の普及啓発に努める。

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	環境部	課等名	環境・ゼロカーボンシティ推進課	担当G	ゼロカーボン推進担当	連絡先	948-6436
------	-----	-----	-----------------	-----	------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	ゼロカーボンシティ松山推進事業(普及啓発)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託		
53113		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約		
基本目標	○		○	○	○			
政策	豊かな自然と共生する		根拠法令	第2次松山環境総合計画、 第2期松山市環境モデル都市行動計画				
施策	脱炭素・循環型まちづくりの推進							
主な取組	脱炭素社会の構築							
取組みの柱	スマートシティの構築							
目的・背景	ゼロカーボンシティの実現に向け、本市から排出される温室効果ガスの多くを占める「民生部門(業務+家庭)」や「運輸部門」の排出削減を目的に、地球温暖化に対する認知度を高め、普及啓発を通して、市民や市内事業者に脱炭素につながる行動変容を促す。							
対象・内容	【対象】 市民、市内事業者 【事業内容】 環境意識の向上を図るため、環境に対する取組等を知り、日常生活に活かしてもらう情報発信の場として、「まつやま環境フェア」等を実施し、地球温暖化対策に取り組むメリットや暮らしの中で取り組める行動等を紹介するなど、脱炭素に関する情報を広く周知啓発する。							

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境政策費
事業費／財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な 経費 (千円) 【R6 決算】	「まつやま環境フェア」実 施業務委託料		4,276
予算 (千円)	事業費計	16,440	12,226	242,078			EVカーシェアリング導入 実証業務委託料		1,795
	国費・県費	4,291	4,281	223,219					
	市債		312	118					
	その他								
	一般財源	12,149	7,633	18,741		電気自動車用急速充電 器の電気料金		952	
決算 (千円)	事業費計	14,169	10,417			主な 取組 内容 【R6】	・「まつやま環境フェア」の実施による市民 への環境問題やゼロカーボンシティの取組 の情報発信。 ・EVの活用による脱炭素化及び防災力の 強化。		
	国費・県費	4,245	4,382						
	市債								
	その他		53						
	一般財源	9,924	5,982						
	(執行率)	86%	85%						
人役	正規職員	2.0	2.0	3.0		特記 事項			
	その他								
	合計	2.0	2.0	3.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和12年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	環境フェア開催の 周知活動回数		目標	10	10	10	10	市政広報番組やラジオ等新規媒体を追加し、りっくるインスタグラムや民間の広報誌など、幅広い媒体で周知した。	
			実績	14	15				
	現状維持	回	達成率	140%	150%				
成果指標	環境フェアの来場者数		目標	2,200	2,300	2,400	2,900	「0円服の交換会」を新たに実施するなど、内容を充実したことで前回より増加した。	
			実績	5,367	5,484				
	単年で増	人	達成率	244%	238%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	「まつやま環境フェア」では、来場した市民に展示や体験イベントなどを通じて、環境に関する興味や関心を持っていただくことができた。							
課題	ゼロカーボンシティ松山の実現に向けては、環境意識が低い人も含めた市民一人一人の脱炭素ライフスタイルへの転換が求められる。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	2050年カーボンニュートラルの実現に向け、脱炭素につながる事業を実施していく。

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	環境部	課等名	環境・ゼロカーボンシティ推進課 まつやまRe・再来館	担当G	環境活動推進担当	連絡先	968-7153
------	-----	-----	----------------------------	-----	----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	まつやまRe・再来館管理事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
53121								
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	豊かな自然と共生する			—	—			
施策	脱炭素・循環型まちづくりの推進			—	—	—	—	
主な取組	ごみの減量・再使用・再生利用の推進		根拠法令					
取組みの柱	ごみの減量・再使用・再生利用に関する意識啓発							
目的・背景	まつやまRe・再来館は、ごみ減量・リサイクルや地球温暖化、自然環境保全などの環境啓発施設として運営している。当施設は、多くの市民が利用するため、安全かつ清潔な環境を維持するとともに、館内の設備等が正常に運転されるよう適切な保守等を行う。平成14年7月に設立されたまつやまRe・再来館は、市民の提案を協議する「夢工房」で議論され、循環型社会及び脱炭素社会を構築するための環境啓発拠点として設立された。							
対象・内容	【対象】 まつやまRe・再来館(愛称:りっくる) 【事業内容】 まつやまRe・再来館の安全かつ清潔な環境を維持するとともに、館内の設備等が正常に運転されるよう適切な保守等を行う。 ・消防設備点検業務委託(株式会社テクニカルへ委託料を支出) ・施設清掃等業務委託(公益財団法人松山市シルバー人材センターへ委託料を支出) ・空調設備保守点検業務委託(日機愛媛株式会社へ委託料を支出) など							

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	保険衛生費	目	環境政策費		
事業費／財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な 経費 (千円) 【R6 決算】	光熱水費		1,359		
予算 (千円)	事業費計	3,852	4,413	4,693			施設清掃	709			
	国費・県費							電話・インターネット代	272		
	市債								施設内の清掃や設備の保守点検など、安全 で清潔な施設管理に係る業務を実施した。		
	その他	142	392	387						主な 取組 内容 【R6】	
一般財源	3,710	4,021	4,306								
決算 (千円)	事業費計	4,829	4,429			主な 取組 内容 【R6】	施設内の清掃や設備の保守点検など、安全 で清潔な施設管理に係る業務を実施した。				
	国費・県費										
	市債										
	その他	135	386								
	一般財源	4,694	4,043								
	(執行率)	125%	100%								
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記 事項	令和6年度からまつやまRe・再来館を松山市 が直接運営している				
	その他		0.5	0.5							
	合計	1.0	1.5	1.5							

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	施設の保守点検		目標	1	1	1	1	法定点検のほか、建物全体の自主点検を適切に実施した。	
			実績	1	1				
	現状維持	回	達成率	100%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	適切な施設管理を行い、安定した運営を維持できたため。							
課題	南棟の太陽光パネルやGHP、蓄電池など設備が更新され、平常時は環境にやさしく、非常時には防災に強い施設となったが躯体や水回りなどに経年劣化が見受けられる。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	市民が安全に利用できるよう、適宜、老朽化に伴う修繕等を行いながら、適切な維持管理を実施する。

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	環境部	課等名	環境・ゼロカーボンシティ推進課	担当G	調整・評価担当	連絡先	948-6434
------	-----	-----	-----------------	-----	---------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	環境総合計画推進事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	1:直営	
53121		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標			緑の映える快適なまち【環境・都市】	○	○	－	○
政策			豊かな自然と共生する				
施策		脱炭素・循環型まちづくりの推進					
主な取組	ごみの減量・再使用・再生利用の推進	根拠法令	松山市環境基本条例第11条(平成15年3月24日条例第9号)				
取組みの柱	ごみの減量・再使用・再生利用に関する意識啓発						
目的・背景	環境への負荷を低減し、豊かな自然を未来へつなげるため、松山市環境総合計画に掲げる基本目標の達成に向け、市民・市民活動団体・事業者・行政が一体となって、総合的かつ計画的に脱炭素・循環型社会の構築を推進する。						
対象・内容	【対象】市民、市民活動団体、事業者、行政 【事業内容】 (松山市環境総合計画の推進) ・計画期間は10年間。5年ごとに見直しを行うとともに、実施計画の推進、各取組みの進捗管理を行う。 (環境審議会) 対象:環境審議会委員(11名) ・環境総合計画に関して第11条第3項(同条第5項において準用する場合を含む)に規定する事務を処理するほか、市長の諮問に応じ、環境保全に関する基本的事項等について審議する。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境政策費
事業費／財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費 (千円) 【R6 決算】	第3次松山市環境総合計画策定業務委託		4,620
予算 (千円)	事業費計	4,045	5,966	5,776			アンケート調査費		430
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	4,045	5,966	5,776		環境審議会への委員報酬		125	
決算 (千円)	事業費計	3,526	5,212			主な取組 内容 【R6】	・第3次松山市環境総合計画の策定を行った。 ・環境審議会を2回開催した。 ・松山市一般廃棄物処理基本計画改定に向けた市民・事業者アンケートを実施した。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	3,526	5,212						
	(執行率)	87%	87%						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.2		特記 事項			
	その他								
	合計	0.1	0.1	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和12年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	1人1日当たりのごみ排出量		目標	746	740	735	722	食品ロス削減や生ごみ水切りなど様々な啓発を進めたことなどにより、概ね目標を達成している。令和6年度の集計結果は令和8年3月末頃に公表予定。	
			実績	732	集計中				
	現状維持	g	達成率	102%	-				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	第3次松山市環境総合計画が策定されるとともに、様々な啓発等により市民のごみ減量意識が向上し、1人1日当たりのごみ排出量が減少傾向にあるため。							
課題	・ごみ減量の取組から生活に根付いた行動変容へとつなげる必要がある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	ごみ減量の意識を高める取組を継続して実施する。

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	環境部	課等名	環境・ゼロカーボンシティ推進課	担当G	調整・評価担当	連絡先	948-6434
------	-----	-----	-----------------	-----	---------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	環境総合計画推進事業 (災害廃棄物適正処理推進事業)	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	1:直営	
53121							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略		市長公約
政策	豊かな自然と共生する		○	○	－	○	
施策	脱炭素・循環型まちづくりの推進						
主な取組	ごみの減量・再使用・再生利用の推進	根拠法令	松山市環境基本条例第11条(平成15年3月24日条例第9号)				
取組みの柱	ごみの減量・再使用・再生利用に関する意識啓発						
目的・背景	・災害廃棄物を適正かつ迅速に処理し、生活環境の保全及び災害からの早期復旧・復興を実現することを目的として、平成29年度に「松山市災害廃棄物処理計画」を策定した。平成30年西日本豪雨の経験等を踏まえ、計画の見直しを適宜行っている。 ・災害廃棄物の適正処理に関わる職員の対応能力向上に取り組むことで、災害からの迅速な復旧・復興を目指す。						
対象・内容	【対象】 市民・行政 【事業内容】 ・災害廃棄物の処理に係る職員の対応能力向上を図り、災害廃棄物対策の訓練等を実施する。 ・災害廃棄物対策四国ブロック協議会・幹事会に参加し、災害廃棄物処理の広域連携を推進する。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境政策費
事業費／財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な 経費 (千円) 【R6 決算】	災害廃棄物対策訓練等に 係る普通旅費		12
予算 (千円)	事業費計	261	166	166					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	261	166	166					
決算 (千円)	事業費計	74	12			主な 取組 内容 【R6】	・市職員を対象とした訓練の開催 ・愛媛県等が開催する訓練への参加 ・災害廃棄物処理マニュアルの改定		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	74	12						
	(執行率)	28%	7%						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記 事項			
	その他								
	合計	1.0	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)
活動指標	災害廃棄物対策訓練の開催	目指す方向性	目標	1	1	1	1	災害廃棄物仮置場の設置に係る図上訓練を実施することができた。
		単位	実績	1	1			
	単年で増	回	達成率	100%	100%			
成果指標	災害廃棄物対策訓練を受けた延べ職員数	目標		150	180	210	240	災害廃棄物処理計画の関係課職員の協力を得ることができた。
		実績		153	196			
	累計で増	任	達成率	102%	108%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	関係課職員参加の下、効果的な災害廃棄物対策訓練を実施できているため。						
課題	人事異動に伴って災害対応に携わる職員が替わることや、災害の規模に応じた対応に備える必要がある。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き災害廃棄物処理に関する対応力を高めながら、訓練や研修会を実施する。	

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	環境部	課等名	環境・ゼロカーボンシティ推進課	担当G	調整・評価担当	連絡先	948-6434
------	-----	-----	-----------------	-----	---------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	災害廃棄物等処理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
53131							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	豊かな自然と共生する		－	－	－	－	
施策	脱炭素・循環型まちづくりの推進						
主な取組	ごみの適正処理の推進	根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)第6条の2				
取組みの柱	適正処理の徹底						
目的・背景	・災害廃棄物を適正かつ迅速に処理し、生活環境の保全及び災害からの早期復旧・復興を実現することを目的とする。 ・本市はこれまで、平成30年豪雨、令和2年豪雨及び令和5年6月30日からの大雨、令和6年7月10日からの大雨により被災し、災害廃棄物の処理を行っている。						
対象・内容	【対象】 市民・行政 【事業内容】 ・生活環境保全上の支障を生じるおそれがあること等の基準を満たす被災家屋等の解体・撤去に係る支援を行う。 ・災害からの早期復旧・復興を図り、災害廃棄物の処理を行う。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境政策費	
事業費／財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な 経費 (千円) 【R6 決算】	災害廃棄物処分費		101,854	
予算 (千円)	事業費計	40,000	300,000	0			被災害家屋撤去等工事費	10,528		
	国費・県費	20,000	150,000					災害廃棄物仮置場運営費	11,397	
	市債									
	その他									
	一般財源	20,000	150,000							
決算 (千円)	事業費計	23,366	124,270			主な 取組 内容 【R6】	・被災害家屋等の解体・撤去に係る支援 ・災害廃棄物の処理委託			
	国費・県費	11,683	59,474							
	市債		30,500							
	その他		1,501							
	一般財源	11,683	32,795							
	(執行率)	58%	41%							
人役	正規職員	1.0	1.0	0.0		特記 事項	災害発生時のみ予算・人役が発生する。			
	その他									
	合計	1.0	1.0	0.0						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	年度内に撤去完了した 支援対象被災家屋件数		目標	10	4	-	-	公共建築課等の関係課の協力を得ながら、 被災家屋の撤去を行うことができた。	
			実績	10	4				
	現状維持	回	達成率	100%	100%				
成果指標	未処理に災害廃棄物量		目標	0	0	-	-	市有施設での受入や民間処理業者への委 託等により、適正に災害廃棄物を処理する ことができた。	
			実績	0	0				
	単年で減	トン	達成率	100%	100%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	国の補助金を活用しながら、年度内に災害廃棄物を適正に処理することができたため。							
課題	より迅速に災害廃棄物の処理を行うために、市職員の対応能力の向上等に努める必要がある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	発災時には、早期復旧・復興を実現するために適正かつ迅速に災害廃棄物を処理する必要があるため。

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	環境部	課等名	環境・ゼロカーボンシティ推進課	担当G	調整・評価担当	連絡先	948-6434
------	-----	-----	-----------------	-----	---------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	松山ブロックごみ処理広域化検討事業			事業性質	2:その他		事業区分	1:直営	
53133									
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】			各種計画該当	総合計画（実施計画）	総合計画（笑顔プログラム）	総合戦略		市長公約
政策	豊かな自然と共生する				－	－	○		－
施策	脱炭素・循環型まちづくりの推進								
主な取組	ごみの適正処理の推進			根拠法令					
取組みの柱	処理施設の更新・維持管理								
目的・背景	持続可能なごみ処理体制の構築に向けて、令和2年9月に松山ブロックごみ処理広域化検討協議会を設置し、松山ブロック(松山市、伊予市、東温市、久万高原町、松前町及び砥部町)のごみ処理広域化について検討を開始した。 令和3年度には広域化の検討を進めるための基本的事項を整理した「松山ブロックごみ処理広域化基本構想」を策定し、これを基に議論を重ねた結果、松山ブロックの3市3町は、ごみ処理広域化を実施することに合意した。								
対象・内容	【対象】 行政(松山市、伊予市、東温市、久万高原町、松前町及び砥部町) 【事業内容】 令和4年度に締結した「松山ブロックごみ処理広域化に関する基本合意書」や令和5年度に策定した「松山ブロックごみ処理広域化基本計画」を基に、松山ブロックの3市3町で議論を重ね、広域化の体制構築に向けた検討を行う。								

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境政策費
事業費／財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な 経費 (千円) 【R6 決算】			
予算 (千円)	事業費計	0	0	0					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源								
決算 (千円)	事業費計	0	0			主な 取組 内容 【R6】	・協議会(構成市町の首長で構成される会 議)及び幹事会(構成市町の担当課長で構 成される会議)の運営		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源								
	(執行率)	0%	0%						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記 事項			
	その他								
	合計	1.0	1.0	1.0					

3.事業評価（検証・改善）【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	-	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	協議会及び幹事会の 開催回数		目標	8	8	8	-	協議会及び幹事会で議論する内容に関する 各種の調整、検討に時間を要したため。	
			実績	8	2				
	現状維持	回	達成率	100%	25%				
			目標				-		
			実績						
			達成率						
事業 評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	協議会及び幹事会の開催回数は目標を下回ったものの、広域化の実現に向けて必要な事項の検討は順調に進んでいる。							
課題	住民への説明を丁寧に行いながら、広域化の実施体制の構築に向け、引き続き3市3町で調整を進めなければならない。					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	広域化の実施体制の構築に向け、引き続き3市3町での調整を要するため。

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	環境部	課等名	環境・ゼロカーボンシティ推進課	担当G	調整・評価担当	連絡先	948-6434
------	-----	-----	-----------------	-----	---------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	全国都市清掃会議等関連事業		事業性質	2:その他		事業区分	1:直営	
53134								
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		各種計画該当	総合計画（実施計画）	総合計画（笑顔プログラム）	総合戦略		市長公約
政策	豊かな自然と共生する			－	－	－		－
施策	脱炭素・循環型まちづくりの推進							
主な取組	ごみの適正処理の推進		根拠法令					
取組みの柱	家庭系ごみの収集運搬							
目的・背景	地方公共団体が実施する清掃事業の効率的な運営や技術改善を目的として、調査研究活動・情報収集を行い、適正な廃棄物処理・環境の保全と市民の公衆衛生の向上に寄与することを目的とする。 今後も、多様化・複雑化する清掃行政に適正に対応する必要があるとあり、全国の市町村等が一致協力して研鑽に努め、要望活動及び諸問題への対応と解決を図る。							
対象・内容	【対象】全国都市清掃会議 【事業内容】 全国都市清掃会議は、廃棄物処理事業に携わる地方公共団体を中心の会員組織として設立され、地方公共団体が実施する清掃事業の効率的な運営や技術改善のために必要な調査・研究等の事業や、国・関係団体に対する要望活動を行っている。本市環境部長は、理事を務め、年5回程度の理事会へ出席し議決権を行使しており、環境・ゼロカーボンシティ推進課長は総務委員会の委員を務めている。また、事業の円滑な推進を図るため、地区協議会を設置しており、本市は中国・四国地区協議会に所属し、副幹事長の職責を担っている。							

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境政策費
事業費／財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費 (千円) 【R6 決算】	理事会等出席に係る普通旅費		404
予算 (千円)	事業費計	795	746	819			全国都市清掃会議年会費等負担金		346
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	795	746	819					
決算 (千円)	事業費計	775	761			主な取組 内容 【R6】	・全国都市清掃会議を通じた情報収集、要望活動の実施 ・全国都市清掃会議理事会等への出席 ・全国都市清掃研究・事例発表への参加		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	775	761						
	(執行率)	97%	102%						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.2		特記事項	令和7年度は、全国都市清掃研究・事例発表の松山大会が開催予定。		
	その他								
	合計	0.1	0.1	0.2					

3.事業評価（検証・改善）【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	理事会等への出席回数		目標	7	7	7	7	他業務との調整が困難であったため。	
			実績	6	5				
	現状維持	回	達成率	85%	71%				
成果指標	本市提案要望事項の掲載数		目標	2	1	1	1	本市の要望事項は、他市町とも共通した課題であると認められ、掲載されたため。	
			実績	1	1				
	現状維持	件	達成率	50%	100%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	全国都市清掃会議理事会や中国・四国地区協議会を通して情報収集や要望活動などを行うことができた。							
課題	特になし。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き情報収集や要望活動等を行う。

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	環境部	課等名	環境・ゼロカーボンシティ推進課 まつやまRe・再来館	担当G	環境活動推進担当	連絡先	968-7153
------	-----	-----	----------------------------	-----	----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	環境教育啓発推進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
53211							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	豊かな自然と共生する		○	－			
施策	環境保全・配慮型まちづくりの推進	根拠法令					
主な取組	環境教育・美化活動の推進						
取組みの柱	環境教育の推進						
目的・背景	本市の環境教育啓発拠点である「まつやまRe・再来館(愛称:りっくる)」での体験型環境学習や、広報等をはじめとする各種啓発を通じて市民の環境意識を高める。						
対象・内容	【対象】市民 【事業内容】 ・りっくる講座開催等:まつやまRe・再来館を中心に、3Rに関する講座や自然観察会等を実施する。 ・家具修理販売業務:シルバー人材センターに粗大ごみのうちまだ使える家具の修理・販売を委託し、リユースを推進する。 ・エコリーダー派遣事業:環境の知識が経験豊富な市民をエコリーダーとして認定し、市内小中学校や公民館等に派遣して環境教育を行う。 ・サマー！エコキッズスクール:夏休み中、小学生を対象に企業や団体、エコリーダーなどが講師となり、様々な体験型の講座を実施する。 ・体験型環境バスツアー:小学4～6年生を対象に、バスに乗って市内のごみ処理施設などを巡り学習するツアーを実施する。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	保険衛生費	目	環境政策費
事業費／財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な 経費 (千円) 【R6 決算】	講師等謝礼		1,002
予算 (千円)	事業費計	29,540	15,306	17,838			自然環境イベント等業務委託	家具修理販売等業務委託料	1,899
	国費・県費	800	630	378					
	市債			2,400					
	その他	1,560	1,320	1,320					
	一般財源	27,180	13,356	13,740				5,482	
決算 (千円)	事業費計	29,161	13,315			主な 取組 内容 【R6】	3Rや自然環境などをテーマとした講座やイベント、展示や情報発信を実施し、様々な観点から市民への環境啓発を実施した。		
	国費・県費	774	262						
	市債								
	その他	1,861	1,646						
	一般財源	26,526	11,407						
	(執行率)	99%	87%						
人役	正規職員	2.0	2.0	2.0		特記 事項	令和6年度からまつやまRe・再来館を松山市が直接運営している		
	その他	0.0	1.5	1.5					
	合計	2.0	3.5	3.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	施設の周知回数		目標	12	12	12	12	広く周知するため、様々な機会を捉えてアプローチできた。	
			実績	13	36				
	現状維持	回	達成率	108%	300%				
成果指標	環境学習会等の受講者数		目標	8,400	8,400	8,400	8,400	イベント出展やフリーマーケットの開催など、広範な市民層への啓発に取り組んだこともあり、環境学習会の受講者数としては、目標値を下回った。	
			実績	6,345	5,594				
	現状維持	人	達成率	76%	67%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	3Rや自然環境などをテーマとしたイベントを開催するなどして、環境教育を進めることができた。市直営1年目であることから、外部のイベント等にも出向き、施設イベント等の周知に注力した。							
課題	りっくるの認知度を上げる必要がある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	本市唯一の環境啓発拠点であり、施設を有効に活用するため。

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	環境部	課等名	環境・ゼロカーボンシティ推進課 まつやまR'e・再来館	担当G	環境活動推進担当	連絡先	968-7153
------	-----	-----	-----------------------------	-----	----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	環境美化推進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
53212							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略		市長公約
政策	豊かな自然と共生する		—	—	—	—	
施策	環境保全・配慮型まちづくりの推進						
主な取組	環境教育・美化活動の推進	根拠法令					
取組みの柱	美しいまちづくりの推進						
目的・背景	国際観光温泉文化都市松山にふさわしい美しいまちづくりを市民総参加で推進することを目的とする。 本市は道後温泉や松山城などの史跡、文化財、句碑などをはじめとする伝統文化や恵まれた自然環境があり、多くの観光客で賑わっていることから、平成15年7月、市内全域をポイ捨て禁止区域に指定し、市民・事業者・行政の協働による美しいまちづくりの推進を目的とした「松山のまちをみんなで美しくする条例」を施行した。						
対象・内容	【対象】 市民・事業者など 【事業内容】 美しいまちづくりの推進のため、事業所や自宅周辺など身近なところを定期的に清掃する「プチ美化運動」を実施する事業所や団体を募集して登録し、表彰している。また、観光客や市民が多く集まる市内中心部をはじめとする「美しいまちづくり重点地区」で清掃パトロールを実施しているほか、ポイ捨て禁止看板を無料配布している。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	保険衛生費	目	環境政策費
事業費／財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な 経費 (千円) 【R6 決算】	清掃パトロール委託料	2,282	
予算 (千円)	事業費計	2,401	4,549	4,662			美化啓発看板作成	53	
	国費・県費	200	200	200					
	市債								
	その他								
	一般財源	2,201	4,349	4,462					
決算 (千円)	事業費計	2,276	3,481			主な 取組 内容 【R6】	・「プチ美化運動」の周知・啓発および優良団体等を表彰した。 ・「美しいまちづくり重点地区」の清掃及び啓発業務により、美しいまちづくりを推進した。		
	国費・県費	79	53						
	市債								
	その他								
	一般財源	2,197	3,428						
	(執行率)	95%	77%						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記 事項			
	その他								
	合計	1.0	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	美しいまちづくりに関する啓発回数		目標	12	12	12	12	様々な機会を捉えて啓発を行ったが、目標には届かなかった。	
			実績	9	10				
	現状維持	回	達成率	75%	83%				
成果指標	プチ美化運動の登録者 (まち美化サポート犬含む)		目標	400	400	400	400	プチ美化運動事業所とまち美化サポート犬の登録が着実に増えている。	
			実績	384	394				
	現状維持	回	達成率	96%	99%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	広報紙を使ったプチ美化運動の周知や、環境イベントでの啓発を実施したことにより、プチ美化運動事業所とまち美化サポート犬の登録数が増加するなど、市民の美化意識の向上に繋がったため。							
課題	ポイ捨てに困っている市民が一定数いる。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	美化意識の向上に繋がる取組を継続することで効果を高める。